

成人おめでとう！！

真希ちゃんにインタビューしました！

- スタッフ 成人式おめでとうございます。
まきちゃん ありがとうございます
スタッフ 1/9の成人式は森のホールでしたね。感想をお聞かせください。
まきちゃん 私の前の人が大きな赤い帽子をかぶっていたので、前がよく見えなかったです。
スタッフ その日はどんな感じてましたか？ドキドキ？ワクワク？それとも落ち着いていた？
まきちゃん 落ち着いていました。
スタッフ 成人して思った事やりたい事はありますか？
まきちゃん ライブにお父さんと出たいです。(今までお父さんと一緒に馬橋のピーグル(ライブハウス)などで歌を歌っています)
スタッフ 1/10喜楽家でお祝いがありましたけどどうでしたか？
まきちゃん 嬉しかったです。
スタッフ みんなからのメッセージをもらって泣いていましたよね？！
まきちゃん 手紙をもらってびっくりして急に涙が出てきて、嬉しかったです。
スタッフ みんなからのメッセージで「お酒を飲みましょう」というのが多かったようですがいかがですか？
まきちゃん 一緒に飲みたいです。飲みに行ったら酔いで乾杯したいです。
スタッフ 作業班が名刺班ということもありますが、名刺を頑張るといってましたね
まきちゃん 以前、家で仕事の手伝いをしていたので、仕事が好きです。
スタッフ 1月11日の20歳の誕生日にお酒を飲んだそうですが、お酒はどうでしたか？
まきちゃん 缶チューハイやビールを飲みました。苦くもないし、2杯くらい飲みました。あまり顔も赤くならず、まだ飲めそうな感じでした。
スタッフ 成人式のお祝いで何かプレゼントはありましたか？
まきちゃん 小学6年生の時の先生に成人式の会場でお花をもらいました。
スタッフ 最後にまきちゃんからメッセージをお願いします。

20歳になりました。ライブに出たり、ディズニーシーにもいっぱい行きたいです。これからもよろしく願います。

潮 真希



喜楽家では成人を祝う会を行いました。
ホットケーキをみんなで作りました。



お母さんから一言いただきました。

—成人式を迎えて—

先日(H24.1.10)は成人を祝う会をしていただき、ありがとうございました。

喜楽家の皆様のあたたかさに感動して大泣きした真希は、本当に嬉しかったんだと思います。この涙はこれからの人生の心の支えになると思います。

真希はH4.1.11に1410gの極小未熟児で生まれました。生まれた時は、1週間と命が持たないと言われたのに20歳になって振袖を着て、成人のお祝いをしてもらえるとは親としてこんなに嬉しいことはありません。

真希は赤ちゃんの頃から、祖父の会社で仕事を手伝っていたので、仕事をするのが大好きで、人の役に立つこと、喜んでもらえることが生きがいの様子でした。それは20歳になった今でもそうで、我が家では一番のしっかり者です。

小さい頃から歌が好きで、祖父から教わった演歌を歌い、今はお父さんと一緒にジャズを歌っています。(英語で・・・！)

これからも多くの人と出会い、色々な経験をいっぱいして真希の世界を広げて、楽しい人生を送って欲しいです。そして先輩方の様な、すてきな大人になって欲しいです

呑んべ〜シリーズ第5弾

呑んべ〜の一言

こんにちは、金賀勇一です。

今回は、お酒についての話しをしたいと思います。

ぼくは、普段家で飲むときは週に1, 2回(1回350ml未満)程しか飲みません。

飲むのは主にビール、カクテル等です。

特に外国産のビールが好きで、頻繁にはではないですが定期的に買って飲んでいきます。

買えるところが限られたり、高かったりするのがネックですが、初めて外国産のを飲んでから国産のは一部を除きおいしくなく飲めなくなっていました(笑)

しかし、そうはいつでも高いのであれば頻繁には飲めないですよ?

そういうときは、どうしているのか?と言えはひたすら我慢しています。

何故なら安くておいしくないビールを飲むのなら高くてもおいしいビールを飲みたいと思うからです。

そこでぼくは、飲み方を変えて安いものをたくさん飲酒するのではなく、高くても良いからおいしいお酒を少し飲むという健康的な晩酌をしようということで今に至ります。

普段は、こんな感じですが飲み会をやるときにはビールは3杯ぐらい飲んだりします。

ぼくは、基本的に黒ビールが好きでスモークチーズをおつまみにして飲むのが、最高だと思っています。最後におすすめのビールの銘柄を紹介したいと思います。

まず、ぼくが好きな銘柄はアイルランドのドラフトギネス、キルケニーとベルギーの白生、シメイブルー、ヒューガルデンホワイトとメキシコのコロナエキストラというビールです。

女性向けにおすすめの銘柄は、ベルギーのリンデマンスカシス、ミスティックチェリーというフルーツ系のビールでアルコール度数が少なく、苦味もないため飲みやすいです。

ちなみにこれらのビールを買えるお店は、酒の「やまや」や大きめなイオン系のスーパー等と限られています。

では、人それぞれ色々なお酒の飲み方があると思いますが
みなさん飲みすぎにはお気をつけて下さい。

金賀 勇一

呑んべ〜のみなさん。

次に原稿を依頼するのはあなたかもしれない!!

声の文法一

序 西欧語は主語が先ずあって、これに呼応して述語動詞が決定する。主語＋述語の組み合わせ文(Sentence)ができる。このような形式を持つ。これに比して日本語は詞＋辞の組み合わせで句ができる。これを最小単位として、連結して文となる。

雨だ 名 刺＋辞
きれいね 形容詞＋辞
さすがだね 副 詞＋辞
歩こうか 動 詞＋辞

このような一語文が成り立つのが、日本語である。この時に重要な働きをする、西欧語文法にはない「辞」について調べている。

一1 辞は千変万化する

例えば、鉢呂経産大臣が辞任するはめになったという事態を英語では

Hachiro resigned as minister of E.T.I(E.T.Iは エコノミー、トレード、インダストリーの略で経産省のこと)

というようにS+Vの形で表す。これ以外の表し方は何通りもない。

一方、日本語の場合、新聞紙上では「鉢呂、辞任」と名詞を並べるだけで見出しの文と成り得る。そして「鉢呂、辞任か」と疑問の辞「か」を付ければ鉢呂氏の去就についての議論が起こっている事を表す。「鉢呂、辞任へ」と「へ」を付ければ、ほぼ確定した事を表現できる。日常の会話の場面では、

鉢呂が+やめた
々 +やめさせられた(ムリにの意?)
々 +やめてやがる(当惑の意?)
々 +やめさせられちゃった
々 +やめさせられやがったんだってよ
々 +やめさせられたようだね

・
・
・
・

というように、辞の部分は驚くほど多様に変化する。また「やめさせられちまいやがったって話をうわさで聞いたようなことを云っていた人がね……」とガラガラと長く伸ばそうとすれば、日本語の特色でどこまでも伸ばせる。そしてこの辞の部分は話し手の「鉢呂がやめた」という事実に対する心的態度を示す。「やめさせられた」といえば無理矢理に周りの圧力でやめた感じ、「やめやがった」といえば話し手が「辞任」の報道に驚いている感じなど話し手の事柄に対する同感、反発、疑問などのニュアンス、を示すことになる。つまり詞の部分は事実を、辞は話し手の話題に対する、また聞き手に対する心の思いを表すのだ。

一2 会話の二つの機能

人間はなぜ会話をするのか。前の章で述べたように第一には情報の伝達機能である。第二はつきあい機能である。これは女性が大した話題もないのにいつまでも長話しをするとところにみられる。人間は群れを作って生きる生物なので人間関係を作り、維持するのは重要な仕事である。この二つを具体例で見てみる。

先ほど、日本政府は沖縄県に「環境アセスメント」なる書類を郵便で送りつけた。これが沖縄県民の怒りを買ったのは記憶に新しい。この怒りは当然で会話すべき相手に「法的に正しい」手段で書類を送ったのだが、第一の機能の情報の伝達を果たしただけで、第二の機能の関係の調節のための説得すること、おつきあいを拒否しているからである。ここは日本政府の相応の高官が事情を説明するために、沖縄まで出かけるべきであった。元の鳩山首相が「米軍基地は最低意でも県外に！」と約束したにもかかわらず、あるいはバカな事を云ったために、問題がこじれて、このこじれから野田内閣は逃げたのである。

逆の例を述べる。昨年、東北の大震災以来日本は暗い空気であったが、女子サッカーのなでしこジャパンがワールドカップで優勝したのは明るい話題であった。このチームについて様々なエピソードが伝えられたが、そのひとつは、佐々木監督がだじゃれが好きでおやじギャグを連発するというものである。このギャグは選手には不評でおもしろくないということだが、このエピソードが心暖まる話として伝わったのは、このチームの自由でのびのびした空気を表していると感じられたからであろう。つまり佐々木監督がチームのメンバーに対して、常に横並びの感覚で話しかけ、人間関係に気を配り、ムードを盛り上げている様子が見えがえる。第一の伝達機能もきちんと働かせているからであろうが、第二のおつきあい機能を、女子のチームであるからかもしれないが、充分自覚的に働かせているのであろう。

一3 詞と辞の働き

詞＋辞論にもどる。会話の二つの機能のうち詞は主に第一の機能を司る。つまり鉢呂大臣が辞めたという事実を伝達する。これに対して辞は、この事実についてどう心を働かせたか…当然と思ったか、意外であったか、疑問なのか、否定的なのかなど…、そして聞き手との関係に対する気遣いを表す。

上記の表現以外にも「鉢呂さんが辞めたじゃないですか」などという言い方まである。これは鉢呂がやめたという否定文ではない。「鉢呂がやめた—そうではないのか」と相手に確認しているのである。西欧語には、話し手の心の態度を直接的に表現する形式はない。この辞の働きを以下も調べてゆく。

西川 淳司